

【校帽を大事にしよう】

学校の行き帰りや校外学習に行くときに、必ず、2年生以上の学年は、校帽を被っていますよね。1年生は、もっと目立つように黄色いぼうしですよ。上神明小学校のこの校帽は、4年前にできました。校帽を作ったのは何のためかお話します。

1つは、皆さんの健康と安全のためです。

夏の暑い時には、熱中症の予防になります。寒い冬の時には、頭を温めます。また、頭が布で覆われているだけでも、頭を何かにぶつけた時に、大けがをしないで済むこともあります。また、校外学習に出かけた時に、上神明小学校の子どもたちが、どこにいるのかが遠くからでも分かると、急な災害や緊急な時に、守って上げることができます。また、地域の人たちからも見てわかるので、学校の行き帰りには、上神明小学校の子どもたちを見守っていただくねらいもあります。

校帽を作ったもう1つの理由があります。

それは、自分の学校を大事にしてほしいのです。上神明小学校の子どもであることに、プライドをもってほしいのです。皆さんにとって、家族が大切であるのと同じように、自分の学校を大切にしてほしいです。学校を愛してほしいのです。

皆さんは、一人一人違う人間です。一人一人が個性をもって自由に生きて行けます。でも、友達やクラス、そして学校や地域のことも、いつでも考えて行動できる子であってほしいです。

だから、皆さんが校帽をちゃんと被って、胸を張って堂々としている姿を見ると、校長先生は、とても嬉しくなります。そんな子どもたちの学校の校長先生であることに、誇りを感じます。中途半端な被り方をしたり、手に持って歩いたりしないで下さいね。